

刊行にあたって

1976年（昭和51年）に歯科医師となって47年が経ちました。歯科医師としていつも考え続けていることは、患者さんをもっと健康に、もっと幸せにしたいということです。

1984年、開業して5年目に歯科診断ソフト（後のDentalXR）を開発し、プラネット社とともに全国展開して39年が経過、DentalXRは現在約6,000軒の歯科医院で使用されるソフトとなりました。

また医療技術面では、400年前と同じ形状の入れ歯では歯の機能改善は不十分で、もっと噛める義歯を患者さんに提供したいと、スウェーデンにインプラント治療を学びにいきました。その後、スウェーデンの大学の教授らの協力でインプラント教育センターを開設、インプラント教育に携わって26年が経過し、受講者は3,800名を超えました。現在は、予防歯科から全身健康歯科、そして幸福歯科を提唱し活動しています。

私は、歯科医療に携わるなかで、歯科界にはなかったものを他の業界、他国の人たちとコラボレーションし、そしてイノベーションしてきました。それが私の歯科医師人生となっています。本書では、多くの歯科医院の先生やスタッフの方たちに、私たちは、患者さんをもっと幸せにできる仕事に従事していることを伝え、皆さんに、仕事を通じて生きがいのある人生を送っていただきたいという想いで発刊いたしました。

本書で紹介している杉本先生との出会いは、原歯科でのインプラント研修会がきっかけです。その後、スウェーデンのインプラント研究会に私と一緒に参加されています。また、出身大学も同じで先輩と後輩の間柄でもあります。コロナ禍で大変なときに、DFT（Dental Facial Treatment）の研修会にスタッフの三宅さんと一緒に参加されて、院長室をDFTルームに改造して本格的に取り組み、いまは同じ志で活動されています。DFTを知ってから、この取り組みを軌道に乗せるまで、読者の皆さんが実践しやすい内容を、わかりやすく具体的にまとめていただくようご協力いただきました。

患者さんとともにスタッフをも幸せにするDFTという新しい取り組みを、ご体験いただければ幸いです。

原歯科 原正幸

contents

刊行にあたって 2

■ 歯科の来し方行く先 DentalXRが導く全身健康歯科へ 4

原歯科 原正幸

- 歯科の基本は歯をできるだけ残すこと 6
- 予防歯科の先にあるときめきの幸福歯科とは 8
- 患者とスタッフを幸せにするデンタルフェイシャルトリートメント 10
- 人を幸せにする仕事は自らをも幸せにする 12
- 美容皮膚科とのコラボで実現したDFT 14
- アンチフレイル（老化防止）を実現させるLycka48Soleilのアプローチ 15

■ reportage 幸福歯科へのチャレンジ DFT始めました 17

杉本歯科医院 杉本真・三宅雅子

- 幸福歯科との出会い 18
- 院長 杉本真の決意 20
 - 従来型の歯科から未来型幸福歯科へのチャレンジ 20
 - ベーシックコースの認定から実践へ 21
 - DFTルーム開設に向けて 22
 - 幸福歯科のこれから 23
- DFTインストラクター 三宅雅子の思い 26
 - 幸福歯科を知ってDFTを導入するきっかけ 26
- 導入にあたっての準備 27
- DFTの実際 29
 - 患者さんへの説明 29
- 幸福歯科へと医院が変わる 31